

## 災害発生時に備え「災害関連死」予防対策を！！



アイケー通信

第5号

避難生活ではストレスや  
過労、感染症などに注意！！



自然災害では、災害による直接的な犠牲以外にも間接的な原因で犠牲になる「災害関連死」のリスクが、とりわけシニア世代で多くみられます。日ごろから災害リスクに対する意識を高く持ち、万が一、在宅や避難所などでの避難生活を強いられた時のための備えをしておきたいものです。

災害関連死の90%が65歳以上の高齢者！

### 《災害関連死の例》

74歳女性が、避難中の車内にて疲労による心疾患で死亡

78歳男性が、地震後の疲労などによる心不全で死亡

88歳男性が、地震による栄養障害及び持病の悪化等により死亡

83歳女性が、地震のショック及び余震への恐怖が原因で、急性心筋梗塞により死亡と推定

災害関連死は、例えば、避難生活における持病の悪化やストレス、復旧作業による過労、医療機関への搬送遅れ、様々な感染症、車中生活などでのエコノミークラス症候群などが原因となって起こります。

これまでの大規模な自然災害での災害関連死の認定者数をみると、阪神・淡路大震災以降の認定者数は約5,000人（阪神・淡路大震災919人、東日本大震災3,723人、熊本地震218人、西日本豪雨53人）となっています。ここで、特筆すべきことは、これら認定者のうち90%が65歳以上の高齢者だということです。

裏面へ続く

## 個人火災の事故請求が例年より 大幅に増加しています

仕事も自宅の時代、在宅が増えた影響だと考えられますが、特に増えているのが、家財を落として壊したなどの事例で「不測かつ突発的な事故」を請求するケースです。

また、洗面台にひびが入った等の事例で「借家人賠償」を請求するケースや、漏水事故が起きたという事例で「個人賠償」を請求するケースも増えています。

また、残念なことに「火災保険で屋根が直せる」等と火災保険の不正請求を誘発する悪徳業者の訪問も増えています。

あなたも詐欺の加害者に？

### 火災保険申請代行 詐欺にご注意を



「保険で直せる」という  
住宅修理に関する

**トラブルが急増中**

最近、関東では地震が続いています。被災した場合に受けられるお金の支援に  
[もらえるお金・借りれる]お金についてご確認いただければと思います。

#### (1) 被災者生活再建支援金～基礎支援金～

○一定規模の自然災害による住宅の被害程度に応じて支援金がもらえます。

#### (2) 被災者生活再建支援金～加算支援金～

○一定規模の自然災害による住宅再建の手段に応じて支援金がもらえます。

#### (3) 災害弔慰金・災害障害見舞金制度

○一定規模の災害により亡くなった方や行方不明になった方のご家族に、自治体より災害弔慰金が支払われます。

#### (4) 災害援護資金

○大きな災害により、世帯主が負傷したり、家財や住宅が被害を受けたりした場合には、自治体による貸付制度を使うことができます。

#### (5) 自治体が配分する義援金

○災害被災者の支援のために、さまざまな方法によって寄付金などが集められ、それが被災地の自治体に届けられ、一定の基準により配分されます。

## 人物ファイル

船附 浩 フナツキヒロシ（広島県三原市出身・58歳）

- ◇ 入社日 : 2008年（平成20年）2月1日
- ◇ 好きな言葉 : 生きているだけで儲けもの
- ◇ 趣味 : ワイシャツのアイロンかけ・皿洗い・洗濯物の取り込み
- ◇ 今後の抱負 : 健康第一